

## 差し込み文書の作成（２）

エクセルのデータリストを使って、ワードで差し込み文書を作成してみます。  
基本となる「差し込みフィールドの挿入」で、個別のお知らせを作成します。さらに、日付や時刻の表示形式を調整してみます。

### １．データシートの作成

①エクセルで新規ブックを開き、下図のような表を作成します。

※氏名などのデータは、適当でかまいません。作品例では、「疑似個人情報データ生成サービス」というサイトを利用しました。

※日付や時刻は、文字列ではありません。（とくに設定しなくても右揃えになっていることを確認してください。）

	A	B	C	D	E	F	G
1	会員番号	生徒氏名	保護者氏名	クラス	面談日	面談時間	担当講師
2		1 諏訪 乃亜	諏訪 一葉	A	9月3日	19:00	小堀
3		2 花岡 加奈	花岡 修三	B	9月2日	18:00	菅沼
4		3 池谷 玲	池谷 卓也	B	9月4日	18:00	菅沼
5		4 川辺 幸市	川辺 瑞穂	A	9月3日	17:00	小堀
6		5 高崎 眞子	高崎 雅夫	C	9月1日	17:00	横山
7		6 小谷 洋平	小谷 光男	C	9月1日	19:00	横山
8		7 岸 昌	岸 貞雄	B	9月4日	17:00	菅沼
9		8 田渕 忍	田渕 有沙	A	9月3日	18:00	小堀
10		9 成田 若菜	成田 吉夫	B	9月1日	18:00	菅沼
11		10 金田 花菜	金田 和美	C	9月2日	17:00	横山
12							

②適当なファイル名をつけて、デスクトップなどに保存してください。

### ２．文書の作成

①ワードで新規文書を開き、次ページのような文書を作成します。

②適当なファイル名をつけて、デスクトップなどに保存してください。

様

## 3 者面談のお知らせ

怒 玉 塾  
塾頭 怒玉 勝悪

進路志望を明確にすることが、第 1 志望合格への第一歩。以下のように 3 者面談を実施します。当日までに、お子様と進路志望について話し合い、面談で志望校や問題点をお知らせください。

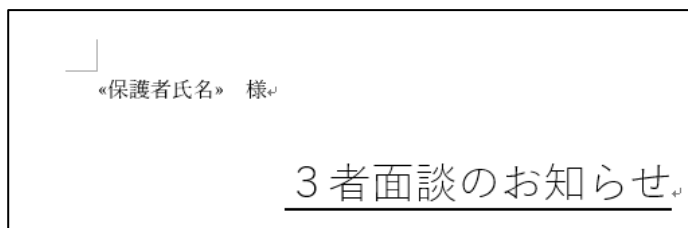
怒玉塾では、生徒諸君の目標達成に向けて、全力でサポートしていきます。

クラス	
生徒氏名	
面談日時	(所要時間約 50 分)
担当講師	

## 3. フィールドの差し込み

① 2の文書で、「差し込み文書」タブ→「宛先の選択」→「既存のリストを使用」で、1で作成したエクセルファイルを指定します。（「先頭行をタイトル行として使用する」にチェックを入れてください。）

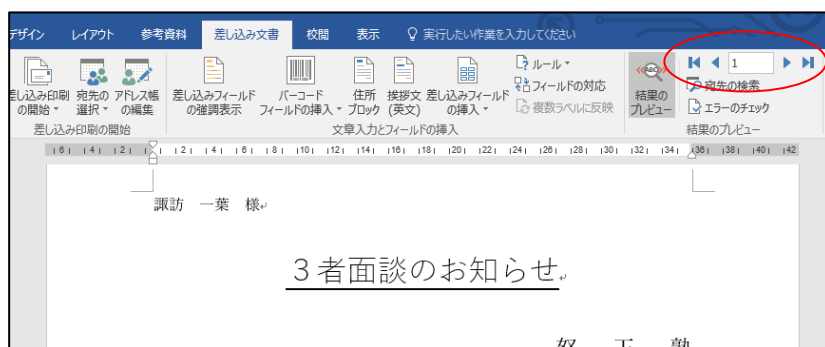
② 文書の先頭（「様」の前）にカーソルを置きます。「差し込み文書」タブ→「差し込みフィールドの挿入」→「保護者氏名」。右図のようになれば、OK。



③ ②と同様にして、表の部分に、「クラス」などのフィールドを挿入します。

クラス	«クラス»
生徒氏名	«生徒氏名»
面談日時	«面談日» «面談時間» (所要時間約 50 分)
担当講師	«担当講師»

④ 「差し込み文書」タブ→「結果のプレビュー」を押します。データが表示されればOK。レコード (○のところ) を、動かしてみましょう。



## 4. フィールドの編集

「面談日」「面談時間」の表示が、ちょっと変ですね。「面談日」は「9月3日」、「面談時間」は「午後7:00」というように表示するよう、フィールドを編集します。

面談日時	9/3/2017 7:00:00 PM (所要時間約 50 分)
------	----------------------------------

①「面談日」フィールドのところにカーソルを置き、Shift+[F9]キーを押します（Shiftキーを押しながら[F9]を押す）。フィールド編集モードになり「{MERGEFIELD 面談日 }」となります。フィールドの後ろに追記して「{MERGEFIELD 面談日 \@ "M 月 d 日"}」としてください（\などの文字は半角です）。

入力し終わったら、再び Shift+[F9]を押し、フィールド編集モードを終了します。「9月3日」のような表示に変わりましたか。

※表示が変わらないときは、[F9]キー（フィールドの更新）を押してみてください。

②同様に、「面談時間」フィールドについては、  
「{MERGEFIELD 面談時間 \@ "AMPMh:mm"}」  
とします。

## [発展]

各フィールドの後ろに付けた変な文字列は、「スイッチ」といいます。このスイッチで、表示形式を指定します。日付や時刻のスイッチは、以下のようなものがあります。

表示形式	例	スイッチ
西暦	2017/9/3(Sun)	\@ "yyyy/M/d(ddd)"
和暦	平成 29 年 9 月 3 日(日)	\@ "ggge 年 M 月 d 日(aaa)"
24 時間表示	19 時 00 分 00 秒	\@ "H 時 mm 分 ss 秒"
12 時間表示 1	PM 7:00:00	\@ "am/pm h:mm:ss"
12 時間表示 2	午後 7:00:00	\@ "AMPM h:mm:ss"

上記は、スイッチの例です。不要なものを削除したり、必要な文字を追記したりすれば、イメージに合わせた表示形式にできます。

例)「9月3日はなんと日曜日」=「\@ "M 月 d 日はなんと aaa 曜日"」

## [補足]

差し込み文書で既存のリストファイルを指定した場合、絶対パスでリンクしているため、リストファイルの保存場所が移動されると開けなくなります。（たとえば、添付の

「Word250sample.docx」を開こうとすると、エラーになります。）

その場合は、リストファイルの場所を指定し直すと、正しくファイルが開きます。